

第3回 RIETI ハイライトセミナー
「企業の新たなグローバル展開と
日本経済」

パネルディスカッション資料
伊藤 恵子（専修大学・RIETI）

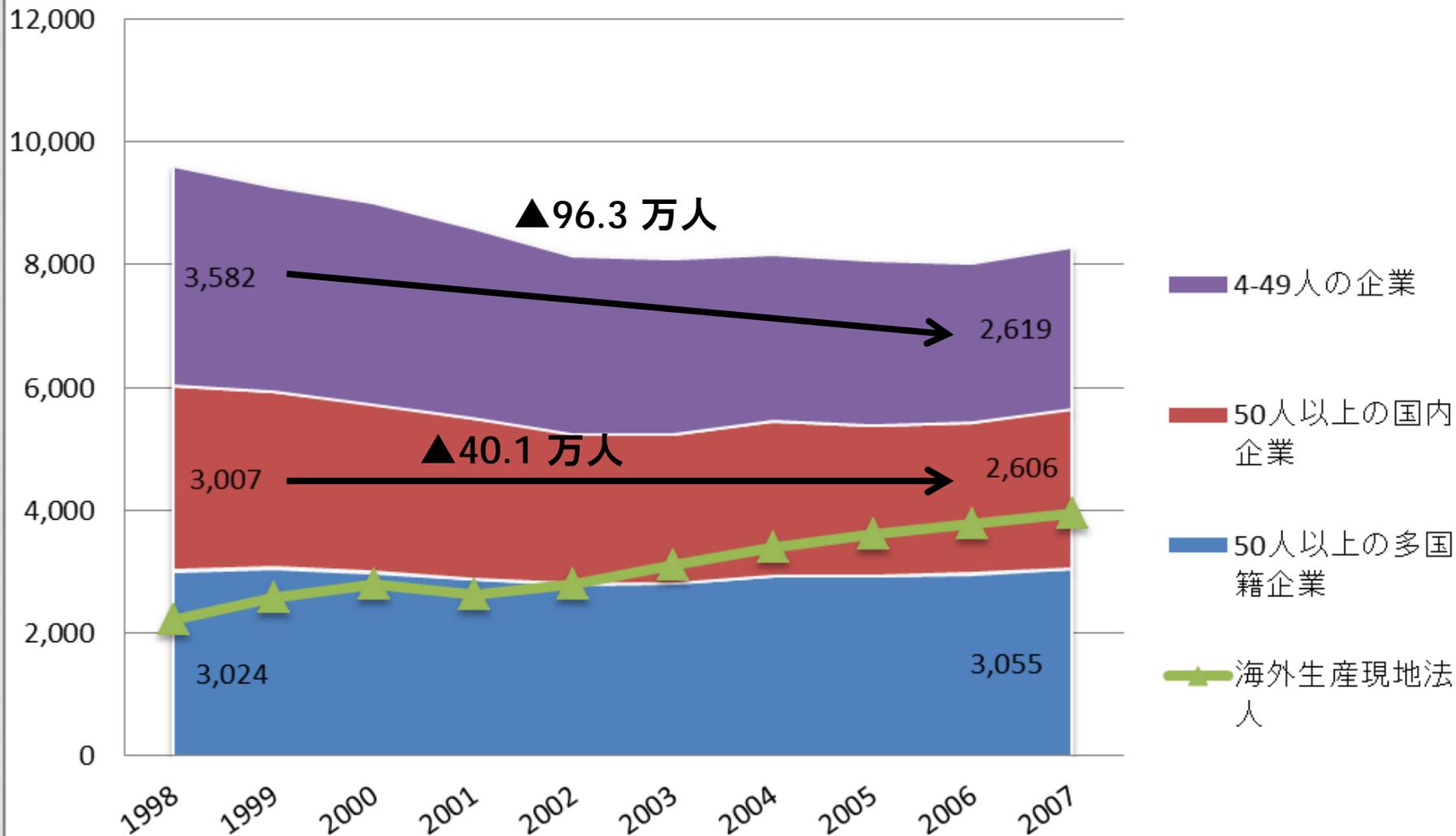
2013年3月8日（金）16:00-18:00

海外事業活動の拡大と国内雇用

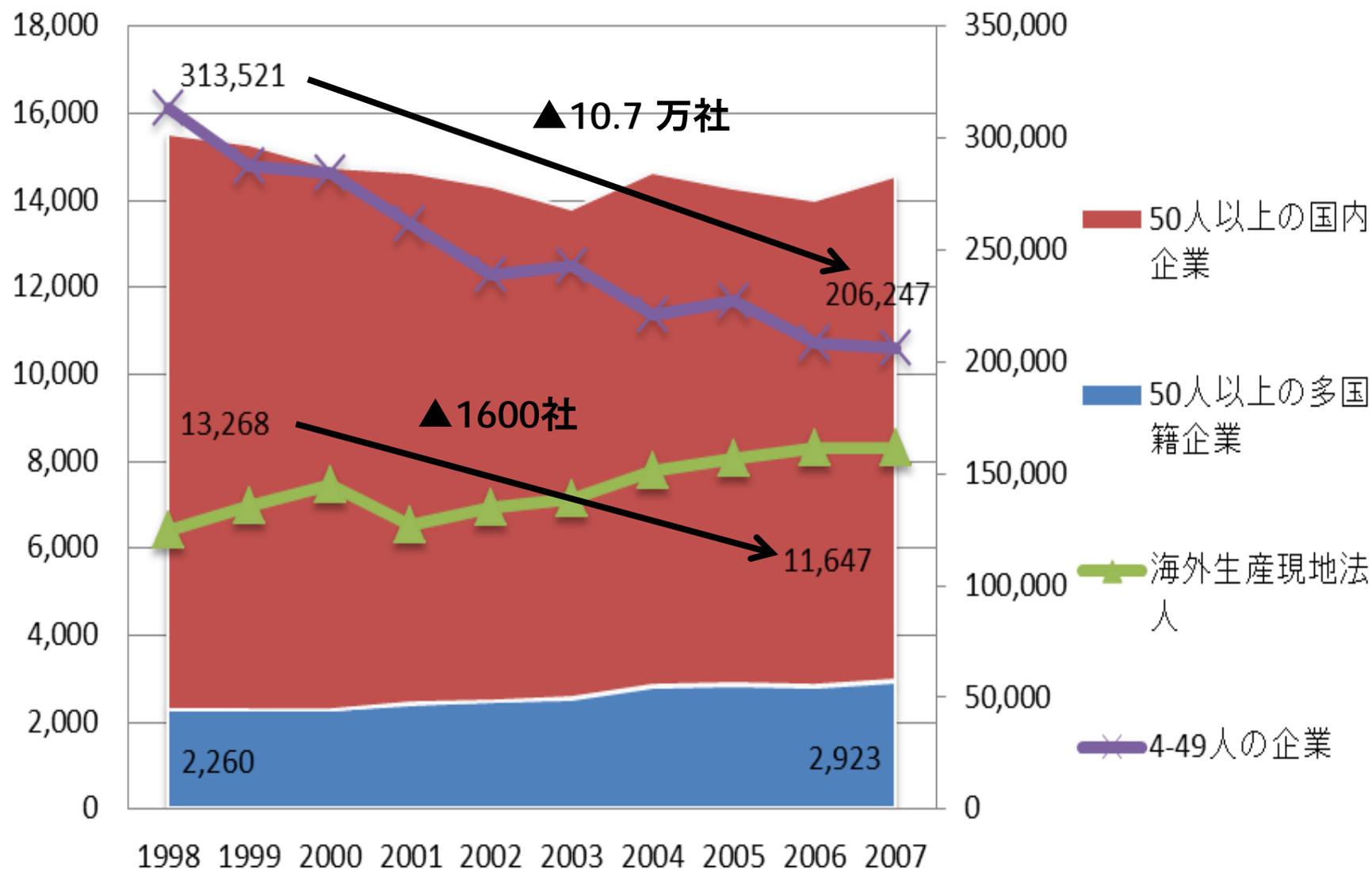
- 製造業企業数と雇用者数の推移
- 海外事業活動と国内の事業活動は補完的か代替的か？
— 先行研究からの知見 —
 - 多国籍企業内における国内外雇用の補完性・代替性
 - 産業レベルの輸入や海外生産と国内雇用との関係
- 主要販売先企業の海外生産拡大と国内企業の雇用（ミクロ分析）
- まとめ

(a) 日本の製造業企業による国内外の雇用者数

(1,000人)



(b) 日本の製造業企業数と海外生産現地法人数



海外事業活動と国内の事業活動は補完的か 代替的か？ --- 先行研究からの知見（1）

- 1970年代末ごろから、米国、スウェーデンの多国籍企業を中心に、実証研究が進む。
- 海外生産と国内雇用との関係（1990年代以降、多国籍企業の親会社と海外子会社とのデータを接続し、分析が進展。多国籍企業内における海外・国内の補完性・代替性）
 - 海外雇用を増やしたことが国内雇用を大きく減らす、という結果は得られていない。
 - より近年の分析では、どちらかというとも正の関係を示す結果が多い。（米国：Desai et al. 2009、欧州：Wagner 2011など参照）

海外事業活動と国内の事業活動は補完的か 代替的か？ --- 先行研究からの知見（2）

- 日本の製造業多国籍企業における海外生産と国内雇用との関係
 - Yamashita & Fukao (2010) : 海外生産を拡大したことが国内雇用を減らしたという結果は得られない。
 - Tanaka (2012) : 多国籍企業化した後、国内雇用は増える（少なくとも短期的には） ⇔ Edamura et al. (2012) : アジアへFDIした企業では国内雇用が減る傾向。

⇒ 多国籍企業内においては、海外生産（雇用）と国内雇用とが代替的であるという強い実証的証拠は得られていない

海外事業活動と国内の事業活動は補完的か 代替的か？ --- 先行研究からの知見（3）

- 多国籍企業でない国内企業に対する影響はどのようなのか？
- 海外からの輸入増加（産業レベル）と国内雇用との間に負の関係がみられることが多い
 - 米国：Katz & Murphy (1992), Bernard et al. (2006)
 - 日本：Tomura (2003)
- アジアへのFDIによって、約60万人の国内雇用が失われたと推計（Fukao & Yuan 2001）

⇒ 産業内の平均的企業の雇用に対して、海外（特に低賃金国）からの輸入増や低賃金国へのFDI増加は負の影響？

⇒ 多国籍企業の海外生産拡大は、そのサプライヤーである国内企業の雇用にどのような影響を与えるのか？（実証研究がほとんどない）

多国籍企業の海外生産拡大は、国内のサプライヤー企業の雇用にどのような影響を与えるのか？

- Ito & Tanaka (2012)による暫定的な結果（分析対象は従業員数50人以上の国内企業＝自社は海外生産拠点を持たない）

主要販売先企業（販売先企業トップ5社）の海外生産比率の上昇 ⇒ 自社の雇用者数増加

負の関係は得られない

- ← 海外生産を拡大できるような「良い」多国籍企業を取引先に持つことが重要？（販売先が海外で売上を伸ばし、海外生産を拡大すれば、国内企業への注文も増加？）
- ← 取引関係のselection, matchingをより詳細に分析する必要あり？
- ← 多国籍企業の海外生産によって深刻な影響を受けているのは、さらに小規模な企業（従業員数50人未満）？

まとめ

- 海外生産・雇用の拡大が、すべての国内企業に負の影響をもたらすわけではない。
- 取引先の海外活動がうまくいけば、国内サプライヤー企業も正の影響を受ける可能性がある。ただし、取引関係の選別が進む可能性はある。
- 海外活動の拡大には、情報不足による不確実性やリスクが伴う（学術研究においても、近年注目されている論点）←小規模な輸出から始めて、うまくいけば拡大する。輸出開始後まもなくは、輸出市場からの撤退も多い。
- 海外事業に一度失敗しても、次に活かすようなメカニズムが必要
- 取引関係の選別が厳しくなることに対し、どう対応するか？
→事業転換、M&Aへの嫌悪感の解消、旧来の取引関係にとらわれない新しい関係の構築

参考文献

- Bernard, A. B., J. B. Jensen, & P. Schott (2006) "Survival of the Best Fit: Exposure to Low-Wage Countries and the (Uneven) Growth of U.S. Manufacturing Plants," *Journal of International Economics* 68 (1): 219-237.
- Desai, M. A., C. F. Foley, & J.R. Hines Jr. (2009) "Domestic Effects of the Foreign Activities of US Multinationals," *American Economic Journal: Economic Policy* 1 (1): 181-203.
- Edamura, K., L. Hering, T. Inui, & S. Poncet (2011) "The Overseas Subsidiary Activities and Their Impact on the Performance of Japanese Parent Firms," RIETI DP 11-E-069.
- Fukao, K. & T. Yuan (2001) "Japanese Outward FDI and Hollowing Out," RIETI DP 01-J-003.
- Ito, K. & A. Tanaka (2012) "Expansion of Overseas Production and the Impact on Employment in Domestic Supporting Industries: An Empirical Analysis Based on Buyer-Supplier Transaction Relationships," mimeo.
- Katz, L. F. & K. M. Murphy (1992) "Changes in Relative Wages, 1963-1987: Supply and Demand Factors," *Quarterly Journal of Economics* 107: 22-64.
- Tanaka, A. (2012) "The Effects of FDI on Domestic Employment and Workforce Composition," RIETI DP 12-E-069.
- Tomiura, E. (2003) "The Impact of Import Competition on Japanese Manufacturing Employment," *Journal of the Japanese and International Economies* 17 (2): 18-133.
- Wagner, J. (2011) "Offshoring and Firm Performance: Self-Selection, Effects on Performance, or Both?" *Review of World Economics* 147: 217-247.
- Yamashita, N. & K. Fukao (2010) "Expansion Abroad and Jobs at Home: Evidence from Japanese Multinational Enterprises," *Japan and the World Economy* 22(2): 88-97.